

幸手市版スーパー・シティプロジェクト

概要
 まちの将来像である『みんなで作る 幸せを手にするまち 幸手』の実現に向けて、市民と行政の協働によりともにまちづくりを考え、実践することで、子どもから高齢者までのだれもが活躍し、笑顔で暮らし続けられる、幸せを手にするまちの実現を目指す。

- 課題**
- ・若い世代の転出抑制・転入促進
 - ・公共交通の利便性の確保
 - ・社会環境の変化や市民ニーズの多様化への対応
 - ・災害に強いまちづくりへの取組のさらなる強化

	コンセプト(目的)	目標時期	検討したい取組(施策)	民間企業等の協力を得たい分野・内容
コンパクト	みんなが住み続けたいと思えるまちづくりの推進	中長期 (5~10年)	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある多様な都市機能を集積した拠点の形成(商業、行政、医療・福祉など) ・新たに生み出される調整池などの施設の有効活用(スポーツパークなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ・3空き(空き家、空き地、空き店舗)等の活用 ・調整池などの施設の有効活用
スマート	だれもが豊かな暮らしを実現できるまちづくりの推進	中長期 (5~10年)	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な公共交通ネットワークの確保 ・デジタル技術を活用した行政サービスの利便性向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業と連携した企業通勤バスの活用 ・電動自転車の導入及びステーションの設置
レジリエント	災害に強いまちづくりの推進	中長期 (5~10年)	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の一時避難施設の確保(垂直避難や電源確保など) ・災害時の協力体制の構築及び帰宅困難者・避難者対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時における一時避難施設としての受け入れ ・災害時の体制構築

幸手市版スーパー・シティプロジェクト

中心拠点エリア

コンパクト

- 魅力ある多様な都市機能を集積した拠点の形成



幸手駅周辺



働く場や交流の場の整備例
(出典：埼玉県)

産業拠点・道の駅検討エリア

コンパクト

- 新たに生み出される調整池などの施設の有効活用



調整池の利活用例 (出典：静岡県)

レジリエント

- 災害時の一時避難施設の確保



工業団地を活用した一時避難施設イメージ (出典：国土交通省)
道の駅との連携イメージ (出典：国土交通省)

市全域

スマート

- 持続可能な公共交通ネットワークの確保
- デジタル技術を活用した行政サービスの利便性向上



企業バスとの連携例
(出典：湖西市)



電動自転車の導入及びステーションの設置
(出典：国土交通省)

レジリエント

- 災害時の協力体制の構築及び帰宅困難者・避難者対策



官民連携による避難訓練・図上訓練例
(出典：内閣府・国土交通省)



中心拠点

幸手市役所

幸手

産業拠点

幸手IC

道の駅検討

凡例

- 市街化区域
- 首都圏中央連絡自動車道
- 都市計画道路
- 都市計画道路(現道なし)
- その他主要道路

